

ちびまる子ちゃんの夢の人
山形を愛した世界の旅
兼高かおるさん記念看板から

壮大な夢が最上川義経ロマン観光の舟下りに登場!とにかく大人気! 東京ディズニーランドの発想から誕生した 最上川トークライブクルーズで巡る「最上峡ワールド」 「歴史・文学・自然館」往復周遊60分

なぜか東京ディズニーランド「イツ・ア・スモールワールド」や「ジャングルクルーズ」と重なるから楽しい

なぜ
東京ディズニーランドの
発想になったのか



毎日賑わっている仙入堂

NHK大河ドラマ「源義経」(1966年)でも 仙入堂が紹介された。

義経一行は、羽黒山から最上川へ行き清川から舟に
帆をはり川を舟でさか上がって行った。その途中、左
に古ぼけた「ほころ」(神を祀った小さなやしろ)つま
り、仙入堂があり、後に言う仙入堂は八百年前、常陸
坊海尊(義経の従者)が建立したのである。」と。



仙入堂の位置する(右下の右岸)最上峡のど真中の最上川。

兼高かおるさんが
話されていた「世界でここだけの
楽しいコース」とは。

それでは、本物の最上川の舟運に出会う「最上川トークライブクルーズ」でLet's goだ!

最大の急流川上りと下りを楽しみ、そして船から途中降りて歴史文化遺産仙入堂を訪ねることこそ最大の魅力だ。

仙入堂にごあんないすることがおもてなしの一つだが、ゴミの少ない最上川をごあんないすることもおもてなしだ。そして当り前のことだが、46年間無事故で今日を迎えている。

周遊コースだから、車の回送は不要。船から降りたらすぐ次の観光地へ行け

〈Aエリア〉

31年間世界150ヶ国を巡り日本中の家庭を魅了し続けたテレビ番組「兼高かおる世界の旅」の兼高かおるさんの記念看板が完成した。その場所は、最上川義経ロマン観光の乗船受付所前で、山形県の象徴最上川の絶景が眼下1kmに見渡らせるJR陸羽西線高屋駅だ。

- イツ・ア・スモールワールドは、大幅リニューアルし世界を旅立つ出発地に「スモールワールドステーション」があり、「スモールワールドクロック」もありゲストを出迎える。
- 一方、最上川義経ロマン観光は、乗船受付所を大幅リニューアルし、最上川の絶景が見渡せる場所に世界を見続けてきた兼高かおるさんの記念看板を設置して、ゲストを出迎える。それに兼高かおるさんは「ちびまる子ちゃん」の夢の人と看板に書いていることから若者との会話が多了くなった。その一つにガイドから「最上川トークライブ」に変えた方がよい。そして、プロフィールも本の著者のように言った方がよい。それによって最上川の付加価値が高まり山形県全体のイメージアップになると教えられる。テーマは歴史・文学・自然そして感動・笑い・涙だ。

〈Bエリア〉

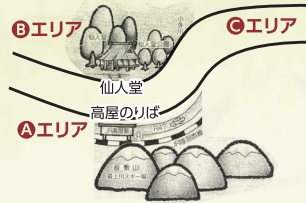
兼高かおるさん記念看板のあるAエリアから最上川眼下に見る対岸に船でしか行けない仙入堂外川神社が見てとれる。兼高かおるさんは仙入堂に3度来られている(山形県内の観光地には120ヶ所訪ねている)今、一度は行ってみたい夢を叶えるパワースポットの縁結び神社になった。

- 東京ディズニーランドは、ディズニー映画に登場する様々なキャラクター達に出会う。
- 一方、最上川義経ロマン観光は「歴史ロマン物語」に登場する義経・弁慶・海尊・芭蕉など文人墨客のキャラクター達と、そして、雄大な自然や楽しい名所に出会う。

〈Cエリア〉

兼高かおるさん記念看板と仙入堂の2つの点が線になり、歴史・文学・自然といった山形県立自然公園最上峡全体が面となったことから、人はいつのまにか「最上峡ワールド」「歴史・文学・自然館」と呼ぶようになった。ここを最上川トークライブクルーズで巡る60分の船旅にLet's goと言うと、「イツ・ア・スモールワールド」や「ジャングルクルーズ」と重なると言う。それに軽快な楽しい語り口は「ジャングルクルーズ」とも重なると言う。

- 兼高かおるさんは、旅人は素朴さ(手付かず)と本物を求めていると話されていた。高屋乗船場は、日本一素朴な何もない所だ。国の土地だから建物は建てられない。だから小説を書いて素朴さを演出している。このことを書いた素朴な看板を見ている人はうなづく。だからだろうか。この素朴さは一つのテーマとなり、旅人に共感を得るから今人気を呼ぶようになったのだろう。世界150カ国を見続けてきた兼高かおるさんは、さらに教えてくれた。最上川義経ロマン観光のこのコースは、世界でもここだけではないかと。世界でここだけのコースの中に東京ディズニーランドのような楽しいことがいっぱい凝縮されているなんて。世界で一つだけのコースが最上川にあることは山形自慢だ。



心をやす仙入堂。兼高かおるさんは3度来られている。
・「アル・ケッチャー」の奥田政行さんは仙入堂で結婚式
・「孫」の大泉逸郎さんは、ヒット祈願
・ジャニーズ事務所の印が入っているSMAP全員のサインがある
・「ちびまる子ちゃん」のさくらももこさんのサインも展示

芭蕉の紀行文「奥の細道」にも 仙入堂が紹介されている。

最上川は、みちのくより出、山形を水上とす。(略)板敷山の北を流て、果は酒田の海に入。(略)白糸の滝は青葉の隙々に落て、仙入堂岸に臨て立つ。水みなぎって舟あやうし。五月雨をあつめて早し最上川



芭蕉を「奥の細道」へ決断させた最上川(写真提供/戸沢村)芭蕉の詠んだ句の中で人気No.1の最上川。

るから効率がよい。どこの観光地もそこでしか味わえない観光地づくりを目指している。最上川義経ロマン観光は、このことを象徴している。トークライブも非常に楽しくなる。

いづれも東京ディズニーランドのテーマ「安全」「おもてなし」「楽しい・喜ぶ」「効率」などと重なるから今人気になっていると人は言う。

2023年からの楽しい船旅 若者が来なくなったのは、若者向けの商品開発をしなかったからだ

東京ディズニーランドの発想から母なる最上川に全国から若者を呼ぼう! (歴史・文学・自然が語り継がれる) 若者とは、年齢ではない、不可能を可能にする柔軟な発想をする人



船上で最上川トークライブの
芳賀由也ってどんな人(1回のトーク60分・歌2曲)

- 3万回トークライブ達成
- 小説「義経と最上川」など9冊本を執筆
- FMラジオのパーソナリティを務めている
- 各界を代表する著名人と対談
- 外国人には英語で説明
- 最上川義経ロマン観光の社長

- 46年前雪見船を企画し、商品化に成功
- 仙入堂の歴史と義経を最上川に魅らせる
- テレビ番組「兼高かおる世界の旅」に憧れて28歳の時約30日間かけて世界一周を果たす。それから20数年後兼高かおるさんから仙入堂を訪ねたいと自宅に電話が入った。それから、兼高さんと二人で日本全国延べにして60日間の旅を一緒にした。私の観光の考え方は兼高かおるさんに影響を受けているといっても過言ではない。
- 日本旅行作家協会評議員
- 但し、指名料は無料(笑)

ゲスト(乗船客)から次と同じような
お話が多く聞こえてきます。

東京ディズニーランドのようにとにかく楽しかった。新しい発想からくるんですね
東京都在住50才男性

ガイドから最上川トークライブに変えたことは、ステューデスから客室乗務員に変えたことと重なり、時代と共にネーミングからも地域興しになるんですね。トークライブの楽しい軽快な語り口は、ジャングルクルーズと重なります。トークから勉強になることいっぱいでした。感動しました。
北海道在住64才女性

義経と芭蕉が会ったロマンの仙入堂
●義経・弁慶・海尊・芭蕉も船から降りて仙入堂の土を踏んだ所に立つワクワクエリア
●縁結び(仕事の良縁・健康・幸せ含む)エリア
●芭蕉が「五月雨をあつめて涼し最上川」を「早し」に考えなおしたエリア



仙入堂

仙入堂の奥の院がある

一本の木も切られたことのない不伐の森

船から降りて

仙入堂参拝

初めて最上川の文字が古今和歌集の歌に表われたエリア

上流見る

斎藤茂吉の歌にひたるエリア

Let's go!

スタート

小説「五月雨の頃」を書き小説の舞台地にして素朴さを演出した日本一なにもない縁結びのりば

最上川の絶景地に兼高かおるさんの記念看板を設置してみなさんをお迎えするAエリア(乗船受付所)

高屋駅

JR陸羽西線

ごあんないの船「義経丸」

プロダクト開発しました!

船の運航及び仙入堂の寄港は国土交通省の許可を得ています。全船賠償保険加入

〒999-6401 山形県最上郡戸沢村大字古口字高屋3112-1 (JR高屋駅駐車場内)

パーソナリティを務めている芳賀由也の「最上川仙入堂通信」(ポッドキャスト)検索するとスマホから全国どこからでも無料で聞けます。
お問い合せ 最上川峡には舟下り会社が2社あります。義経ロマン観光は仙入堂にご案内する舟下りで46年(2023年現在)になりました。

最上川舟下り義経ロマン観光

乗船受付／JR陸羽西線高屋駅(無料大駐車場あり)

乗船場／高屋(高屋駅より徒歩2分)

TEL 0234-57-2148 FAX 0234-57-2256

http://www.mogamigawa.jp/ Eメール:tune@mogamigawa.jp

船の運航及び仙入堂の寄港は国土交通省の許可を得ています。全船賠償保険加入

〒999-6401 山形県最上郡戸沢村大字古口字高屋3112-1 (JR高屋駅駐車場内)

TEL 0234-57-2148 FAX 0234-57-2256

http://www.mogamigawa.jp/ Eメール:tune@mogamigawa.jp

最上川



来48風流な旅人がさしに

驚きました。こんなに楽しい所が山形県内にあるんですね。ディズニーランドと結びつけるなんて、とてもよかった。何度でも来ます。
山形市在住25才女性

ジャングルクルーズやイツ・ア・スモールワールドと重ねあわせたことは最高に楽しい。山形県みんなでピーアールしたいです。多くの若い人が最上川にくるでしょうね。
酒田市在住36才女性

正岡子規のおもしろエリア

800年前にタイムスリップ
最古の絵に表れるロマンエリア

川鵜がいるエリア

ディズニーランドと結びつけたことによって、最上川は夢いっぱいになりましたね。宣伝させてもらいます。
福岡市在住42才男性

以前最上川に来ましたが、その時とは全然がいがいい、楽しい最上川になりましたね。最上川歴史ロマン物語とディズニー映画にでてくるキャラクターが重なり、若い人たちにも最上川の歴史が語り継がれていくでしょうね。
横浜市在住70才男性

最上川トークライブを聞きながら船の上で食べる十割そば(100%そば粉・食塩不使用)と鴨肉山菜入りいも煮は最高
浦和市在住52才男性

ごあんない

山形を愛した兼高かおるさん記念看板完成記念!

兼高かおる企画展開催

場所: 兼高かおるさんが3度来られた仙入堂

期間: 2023年4月10日から。

(山形県120カ所の観光地を訪ねた写真を展示) ※各地域に寄与できる写真展

馬の足跡のあるエリア

猿がいるエリア

そそり立つ山々から流れる滝、神代杉が見られるエリア

大亀のいるエリア

ワニ出現エリア

様々な動物・鳥がいるエリア
おしどり・カモシカ・タヌキ・キツネ・熊・イタチ...

小説「芭蕉と最上川」「義経と最上川」「五月雨の頃」の舞台地を巡るクルーズ

感動に涙する

最上川舟唄の

船でしか行けないエリア

残っている

夢の橋エリア

急流川上りに大興奮

本物の最上川を知ろう

舟運時代の集落エリア

トークライブ聞きながらの楽しい船上ランチ

川辺りに「ミ」の字がない

見られる風景が

上りと下りの

昔帆船で川を上った

仙入堂と一緒に「奥の細道」に記されている「板敷山」エリア

木々の中に様々な動物が現れるエリア。何個あるか正解者に特別プレゼント

クジラとペンギンが主人公の絵本の舞台地

明治から大正時代に最上川に川蒸気船が人を乗せて上り下りしていた

47

ごあんないの船「義経丸」

ごあんないの船「義経丸」

ごあんないの船「義経丸」

マップ
東京ディズニーランドの発想から誕生した最上川トークライブクルーズ

